

沖永良部島方言の文例

野原, 三義

(出版者 / Publisher)

法政大学沖縄文化研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

琉球の方言

(巻 / Volume)

7

(開始ページ / Start Page)

68

(終了ページ / End Page)

87

(発行年 / Year)

1982-11-05

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00012734>

沖永良部島方言の文例

野原三義

I. 沖永良部島和泊町国頭方言の文例

この調査は1981年2月9日～11日に行った。
インフォーマントは、中屋利常氏(1892年生)
と今井吉光氏(1910年生)の両氏である。

?amaga ?idʒi ɸu:di
お母さんが 行って 来いと
?idʒi kitʃamu 行って 来た
?idʒi kitʃando: 行って 来たよ
?uraga ?ijusiwa ɸindʒimita
お前が 言うのは うそ
?uriwa mutʃikafanu wattʃaniwa
それは 難しくて 我我には
dikiramu
出来ない
taroga ʃusiwa ?itsimu warusadu
太郎が するのは いつも 悪いぞ
?aru
である
warusabe: du ʃuru
悪さばかりぞ する(へたくそ)
?ariga あれが
ganʃi takasanu munu ko:inu
あんなに 高い物 買う
tʃunu urukaja
人が いるか
ho: rukaja: 買うかね
ho: iga ?ikukaja 買いに 行くかね

ho: iga ?idʒakkaja: 買いに 行った
かな
natʃusa mununu judzai ʃidu
泣き虫が 喧嘩してぞ
natʃaraja:
泣いただろう
?uɸutʃunu tattʃusa:
大人が 立っているさ
?uɸumununu natʃusa:
大物の なっているさ
matsiga tʃibaranu tʃurasanu
マツの 着物の 美しいな
mundʒa:
ɸaɸui 羽織
?ariga ?ujawa honuja: kara
あれの 親は この間から
bjo:ki ʃundo: ja:
病気しているよ
mitʃainu muntʃa: nu tʃuigadu tutti
三人の者供の(内の)一人がぞ 取って
?aʃiga:
あるよ
ju: tsinu tʃa: bannu mi: na: wa
四つの 茶わんの 一杯ずつはありぞ
?aidu ʃuru
する
ti: tsiga ?uttu ʃi: dza

一歳の 弟 兄 (一歳違いの兄弟)
 ti:tsi mifi:
 一歳 見せ (一歳おきの兄弟姉妹)
 ʔaθga na:ni ʔi:tʃi ura jafiga
 あれの 中に 入っているはず
 ʔuθga na:ni ʔi:tʃunu ʔadʒi
 これの 中に 入っているはず
 jafiga
 だが
 ʔuθga na:ni ʔi:tʃu ʔufiga
 それの 中に 入っているが
 ʔi:bi 毎日毎日
 mu:ruga mu:ru 全部が全部
 ʔitsimuga ʔitsimu いつもが いつも
 ʔakujeθga muθ ho:ti ho:raʒa
 百円の 物 買って 嬉しさ
 ʒussa
 しているよ
 ʔafibiga ʔika: 遊びに 行こう
 midzi kumiga ʔika:
 水 汲みに 行こう
 ʔatte:tʃi ʔumu tʃaiga ʔika:
 畑に いも 堀りに 行こう
 ʔippe: tʃibarijo: すぐく 頑張れよ
 ʔa:tʃibai ʃiri:jo: 一生懸命 頑張れよ
 ʔa:tʃibai ʃi: ʔu:jo:
 一生懸命 して 来いよ
 ʔuditunu maga:wa 大きい 孫よ
 ʔuʔisanu " " "
 kʔwa: 子
 ʔi:sa:nuja: 寒いねー
 ti:ga ʔirukudi miθgaramu
 手が しびれて 握ぎられない
 go: きびを入れる 歯車のかみ合う所
 ʔe:sa ni:gisanu ʔumu jafiga

早く 煮えそうな いもだが
 ni:gurufanu ʔumudʒa:
 煮えにくい いもだ
 satʃufiga warantʃanu ulti na:ni
 咲くけれども子供らが 折ってしまって
 nattʃi tui atʃike: ʃirarando:
 取り 扱い 出来ないよ
 ʔubusanu muθ mutʃi kitʃafigajo:
 重い 物 持って 来たよ
 ʔubusa ʔafiga mutʃi ʔikanumuna:
 重いけれども 持って 行かないか
 muθ kambuʒa na:dana atasiga
 物 食べたく なかったが
 kadando: ja
 食べたよ
 kamimu<食べる>。ʔoifiri<召し上がれ>
 ʔwani muθ kamaʃijo:
 豚に もの 食わせよ
 muθ kami 物 食へ(子供に)
 muθ ʔoifiri 物 召し上がれ(目上に)
 mu:kunu ʔuja ムーク(島名)の 親
 mu:kunu ʔattʃa ムークの 父さん
 昔は父さんのことを ʔadʒa と書いた。ʔa-
 ma<母さん>。dʒa:dʒa:<おじいさん>。
 ʔaʃi<おばあさん>。sanadʒi<ふんどし>。
 kanimatsinu kʔwa: カネマツの子
 (女の島名)
 ʔamanu tinugui アマの手拭
 島名は大正ごろから無くなったという。
 ʔaʃi tudʒumu 箸 けずる
 de:ʃi tugi 竹で とげ
 saki numimu 酒 飲む
 darijami sira: 晩酌 しましょう
 wa: tsira mittʃumo:
 私の 顔 見ているよ

?urawa sadati ?idʒu:rijo:
 お前は 先に 行っておれよ
 mitʃinti ?o:tando:ja:
 道で 会ったよ
 mitʃamu 見た
 ʧi:nu ʧa: 木の 葉
 tataminu ʧi: 畳の へり
 ʧainu go: 針の 孔
 ʧainu mi: "
 nabinu suku 鍋の 底
 ʧaʃi:nu saŋ 戸の 棧
 matsinu na: 火の 中
 ja:nu ?ufu 家の 後
 ?agarinu dʒa:dʒa: 隣の じーさん
 ?agari <隣>。?i: <隣>。me: <前>。
 ?ufu <後>。?agari <東>。?i: <西>。
 ʧe: <南>。?ufu <北>。
 me:nu tudʒiutu むかいの 夫婦
 ʧʃikasanu ʧʃu: 近くの人
 kutʃiga mi: 口の一杯
 ?uinu ʧuntʃa 上の人人
 ?ari tarukaja あれ誰か
 ?agu <友>。?asibimu <遊ぶ>。ju:-
 mu <酔う>。?utudʒa <いところ>。?utu-
 dʒantʃa: <いとこ達>。
 ?aridu wa:agu あれぞ 我が 友
 juwainu tabigutu 祝の 度ごと
 juwainu ha:dʒi "
 jununu ʃima 与論の 島
 tukunu ʃima 徳之島
 ?i:dʒima 沖繩
 jambarunu ʃima 山原の島 (=沖繩)
 kinjunu ni:nu ?uturuʃaja:
 昨日の 地震の 恐かったことよ
 jununu go:buranu ?masa ?ataʃija:

与論の かぼちゃの おいしかったことよ
 wa:kwa:nu kanimatsiga ?uiti
 我が 子の カニマツが 植えて
 tsukuti ando:ja
 作って あるんだよ
 ?agunu ?amaga ʧe:sa ʧu:di ʧa-
 友の 母が 早く来いと 言った
 ndo:ja
 よ
 ?aganʃi ʧanaʒuri ?asidusiga ju-
 あんなに 遊んでいるが 喧嘩する
 dzai ʃundo:ja:
 よ
 noimunnu ?atuwa ja: ho:kanja
 縫い物の 後は 家 掃かぬと
 ja:nu jogorijundo:ja:
 家の 汚れるよ
 saki nudi ju:ti ?i:ʧai ʃundo:
 酒 飲んで 酔って 言いあいしてい
 ja:
 るよ
 tamuŋ wa:tinu ?atuwa nu:ʃuijo:
 薪 割っての 後は 何するか
 ?ittʃumu 行く
 ?itʃaga ʃura ?ikaŋga ara wakaran
 行くか 為ら 行かぬが有ら 分からんね
 ja:
 nadʒetʃi ?ikukaja kagufimatʃi ?i-
 名瀬へ 行くとか 鹿兒島へ 行くと
 kukajadi ?itʃu:taʃiga hakkiri wa-
 かと 言っていたが はっきり わか
 karaʃigajo: ?uda:ʧiga itʃura
 らないよ どこへ 行くのかな
 nakajanu ʧakufi 中屋の 嫡子
 ?ariwa nakajanukaja: tarukaja:

あれは 中屋のかなー 誰かなー
 me:nu kwa:kaja: 前の 子かね
 ?ikutsĩnu kwa:kaja:
 幾つの時の 子かね
 ?idʒu:nu kwa: 二十才の時の 子
 ?antʃuwa ?udanu tʃu:kaja:
 あの人は 何処の 人かね
 tʃinanu tʃu 知名の 人
 naʃanu tʃu 那覇の 人
 tʃibirunu tʃu 喜美留の 人
 wadumai <和泊>。 ti:tʃa <手手知名>。
 niʃibaru <西原>。 digi <出花>。 ?a-
 dʒiʃu <畦布>。 ʃimadʒima <島島>。
 ʃimanu ja:kadzikara murotaʃ
 シマの 家ごとから もらった
 ?imiratti <請求されて>。 ?uka <借
 金>
 ?uka habuti 借金 かぶって
 ?itʃafi ʃarorukaja: どうして 払うか
 な
 haninu gutuʃi ʃidʒurusanu
 鉄の ように 冷たい
 natsĩnu tʃu:nu ?amiranja: kusa-
 夏の 人の 浴びないと 臭くて
 sanu ?urajun ja:
 おられないね
 ?asi 汗
 ?an tʃunu ?uʃisaja: ja:nu te:
 あの人の 大きさよ 家の丈
 najuribanna:
 なっているよ
 watanu jadijo: 腹が 痛いよ
 ti:nu darusa jamifi:
 手が だるさ 痛いして
 nudzuminu ?attʃusa ari:

ねずみが 歩いているよ
 tudʒinu tʃundo: 妻が 来るよ
 tʃumu 来る
 munnu wa:rijundo: 物が 煮えるよ
 ni:jumu <煮える>。 juka:mu <良
 い>
 ?uraga ʃun ʃikutʃiwa nu:mu ju-
 お前がする 仕事は 何も 良
 ka:mu
 い
 bo:dzi ʃunu ja:nu warabinu
 散髪 屋の 子供が
 dʒi jamatʃi bo:dzi surukaja:
 足 痛まして 散髪するかなー
 warorukaja: 笑うかな
 hamaraʃaja: やがましいね
 wa:muʃ 私の 物
 wa:ʃumutsi 私の 本
 wa:ja: 私の家
 ?ura guʃani お前の 杖
 ?aʃga muʃ あれが 物
 ?aʃga tʃibara あれが 着物
 (以上, 中屋利常さんより)
 junnutʃi ʃaimu 与論へ 行く
 junnutʃi ?ika: 与論へ 行こう
 naʃani ?atanu ʃanaʃi
 沖繩に あった 話
 ʃini nu:tidu ?ikairu
 船 乗ってぞ 行かれる
 ʃinifi ?ika: 船で 行こう
 ?ma:ni nuti ?ika:
 馬に 乗って 行こう
 ?ma: <馬>。 ?usi <白>。 ?uʃi <牛>
 ʃa:tʃi tabori 借して 下さい

φamatʃi ʔasibiga ʔika:
 浜へ 遊びに 行こう
 ʔamani ʔmja:nu ʔumu
 むこうに 猫が いる
 ʔamani ʔmja:nu ʃusaare:
 いるよ
 ʔuminu ʔjo:dʒi nibutaθ
 海の 洞穴で 寝た
 ma:ni ʔutʃinu ʔugitijo:
 そこに フチが 開いてよ
 ʔutʃi: 水が入りこむ所
 ho: 国頭のクラゴのこ
 ʔatte:ni jase: ʔuiti amu
 畑に 野菜 植えてある
 ʔuriwa ʔatte:nidu ʔuiti ʔaru
 これは 畑にぞ 植えて ある
 ma:ni ji: ここに 坐れ
 mitʃini nibutuθ
 道に 寝ている
 jamatutʃi ʔitʃumu ヤマトへ 行く
 nadʒetʃi ʔidʒi kitʃamu
 名瀬へ 行って 来た
 ʃo:ro:tu ʃo:gatsuniwa ja:ttʃi
 盆と 正月には 家に
 mudurijo:
 戻れよ
 muduti ʔu:jo: 戻って 来いよ
 ʔamatʃi nagira: 向こうに 投げよう
 ʃinanu dʒittʃo:ʃi ʔidʒi kitʃamu
 知名の 瀬利覚へ 行って 来た
 ʃigututʃi ʔidʒamu 仕事へ 行った
 ʔuratʃi hatara: お前に 教えよう
 ʃuni kuritamu 人に くれた
 mi:ni ʔibure:nu dikitijo:
 目に ものもらいが 出来ているよ

ta:ttijo: たかっているよ
 ʔe:sa ʔmo:riba ʔoifundo:
 早く いらっしゃったら あげますよ
 ʔe:sa ʔmo:inu ʃuni ʔoifundo
 " me:nu " "
 早く 来られる人に あげますよ
 dʒa:dʒa:ni ʔamarajundo
 じーさんに 怒られるよ
 ʔuθ warabiwa ʔujatu mittʃun ja:
 この 子は 親と 似ている ね
 wattʃa: ja:wa gakkō:nu ʃikasado
 私達の 家は 学校の 近くだよ
 mi:ʃini wakira: ʔoinja: ʃira:
 三つに 分けるなら 同じように分けよう
 hanʃanu ʔanaʃiwa ʔuda:nimu na:~
 こんな 話は どこにも ない
 nu ʔadʒi jaʃigā
 はず だが
 watʃaniwa ʔaθ 私達には ある
 wadumāini ʔatanu hanafī
 和泊に あった 話
 話者が niではないというので niとした
 が、非常に niに近い。
 ni: 胸
 tu:sakaradu kitʃando:
 遠くからぞ 来たんだぞ
 ho:ri tu:sakaradu kitʃando:
 ずっと 遠くからぞ 来たんだぞ
 ʔe:sakara 早くから
 ʔikusainikara 小さい時から
 ʔamakara ʃuʃiwa tarukaja
 むこうから 来るのは 誰かね
 ʔamakara me:ʃiwa tarukaja
 むこうから 来られるのは 誰かね
 ʔa:tutʃikara juruntani ʔataratʃun~

朝から 夜まで 働くの
do: ja:
だよ
?a: tutʃi ɸe: sakara waiwai ʃundo:
朝 早くから わいわいしているよ
?atukara ?itʃuntuni sada: tuti
後から 行くから 先になって
tabori
いらっしやい
?atukara ɸajuntuni sada: tuti
" 行くから "
tabori
"
ɸajuntuni の代りに tʃu: ntuni <来るから>を用いてもよい。
ʃiʃikara kama 肉から 食べよう
satʃu: ʃikara tutitabori
咲いているのから 取って下さい
sakiwa ɸumifibu tsukujuru
酒は 米でぞ 作る
satawa udʒiʃidu tsukujuru
砂糖は きびでぞ 作る
jamatutʃiwa nu: ʃikara ?itʃuijo:
ヤマトへは 何で 行くか
ɸinina: 船か
ɸinikarado: 船からだよ
jambaruni: ʃi tamum mutʃi kitʃa-
山原船 で 薪 持って 来た
ndo:
よ
?aʃiwa mitʃikara ?atʃandja:
ばあさんは 道から 歩いてたよ
dʒa: dʒa: wa ɸamakara ?atʃando: ja
じいさんは 浜から 歩いてたよ
?ammai tidani tirarutuwa niʃfa-

余り 太陽に 照らされると 日射病
bjo: najundo:
なるぞ
ʃiʃiwa maʃiʃibe: ?araʃko: ?abura-
肉は 真肉ばかり ではなく 油肉
dʒiʃimu madʒiti ho: ti ɸu: jo:
も 混ぜて 買って 来いよ
?inunaga ?mja: naga mandi tʃika-
犬やら 猫やら 沢山 飼って
na: tundo: ja:
いるよ
?inukara ?mja: kara mandi tʃika-
犬から 猫から 沢山 飼っ
na: tundo: ja
ているよ
?inumu ?mja: mu mandi tʃikana: -
犬も 猫も 沢山 飼って
tundo: ja:
いるよ
?ariga ʃundo: naruttuwa ?utturufa
あれが するぞ なれば 恐ろしく
ʃundo:
するよ
?araga ?abitibu wakatando:
お前が 呼んでぞ 分かったよ
?uraga ?abiguifidu wakatando:
お前の 呼び声でぞ 分かったよ
juigama <ふるい>。 ?nja: mudʒi <小麦>。
?nja: mudʒime: <小麦だけの飯>。
?nja: mudʒige: <小麦粉のかゆ>
de: ʃi ɸaʃi tsukura
竹で 箸 作ろう
nataʃi ?i: tʃikititaborijo:
貴方方で 注意して下さいよ
tʃiburu jabi jasundo:

頭 痛くて 休んでいるよ
 tʃiburu jadi nibutundo:
 " " 寝ているよ
 tʃiburu jadi ʧe: tumudja:
 " " 休んでいるよ
 na: ʔitʃaʃuijo: dja:
 もう どうするかねー
 nisentʃa muruʃi udutumudja:
 青年達 皆で 踊っているよ
 ɸuɔ ja: wa tʃutʃitʃiʃi tsukutan-
 この 家は 一カ月で 作った
 do: ja:
 よ
 mitʃitʃiʃiwa naidu ʃuru
 三カ月では なりぞ する
 ganʃi dzattʃiwa dikirando: ja:
 そんなに 簡単では 出来ないよ
 ʔamaniti 向こうで。 jakubaniti 役
 場で。
 ja: nitiwa dikiraɔ 家では 出来ない
 ɸudiʃi haka: 筆で 書こう
 ɸi: sanudu jasudunnja:
 寒くてぞ 休んでいるのですか
 mu: ruʃi ju: dzai ʃi kitʃamu
 皆で 喧嘩 して 来た
 ɸi: sa ʔaɔgara wakarando: ja:
 寒いかどうか 分からないぞ
 ʔitʃikabe: ʃi wa naidu ʃuru
 五日ばかりでは なりぞする
 ʔitʃaha: ʃi wa narando: ja
 どうでもこうでもでは 出来ないよ
 tʃibiru tu: ti wadumaitʃi ʔidʒamu
 喜美留 通って 和泊に 行った
 ʔamakara tʃunu ma: tʃi tʃunugutu
 向こうから 人が ここへ 来るよう

ʔaɔ
 にある
 ʔuda: karaga ʔitʃura wakaramu
 どこからが 行くら 分からん
 ʔuda: tu: ti ʔitʃuɔgara wakaramu
 どこ 通って 行くのか 分からん
 tʃʔu: nu ja: ʔama: tʃi ʔidʒi ma: -
 人の 家 向うへ 行き ここ
 tʃi ʔidʒi ʔaʃididu ʔattʃumu
 へ 行き 遊んでぞ 歩く
 ʔama: tʃi ʔidʒja ma: tʃi ʔidʒaja
 向うへ 行ったり ここへ 行ったり
 ʔaʃididu ʔattʃuru
 遊んでぞ 歩く
 ʔama: ɸuma: ʔattʃi ʔattʃi ʔaʃi-
 あっちこっち 歩き歩き 遊ん
 didu ʔattʃumu
 でぞ 歩く
 jama: mo: ti ʔattʃi ʔaʃidi ʔat-
 山 廻って 歩いて 遊んで 歩
 tʃumu
 く
 (以上, 今井吉光氏より)
 ja: ni undo: 家に いるよ
 ja: ni undo: ja: " "
 umu いるよ
 ma: ni ando: ja: ここに あるよ
 ɸatte: ni jase: uiti ando: ja:
 畑に 野菜 植えて あるよ
 mitʃini nibutundo: ja 道に 寝ているよ
 ʔurani naro: ʃundo: ja
 お前に 教えるよ
 tʃu: ni kuritando: ja: 人に くれたよ
 ʔaɔʒani ɸurusattando: ja:

父さんに たたかれたよ
 ?inuni kwa:ttaθ 犬に かまれたよ
 φuθ kwa:wa ?ujatu mitʃumu
 この 子は 親と 似ている^(θ)
 warabinimu wakajunugutufi hata
 子供にも 分かるように 教えなさ
 rijo: ja:
 いや
 mi:tʃini wakira: 三つに 分けよう
 rokudʒini ?uitaθ 六時に 起きた
 ?ikusaini sugurattijo:
 小さい時に 殴られたよ
 waga nibutuini ?uiti ?idʒi ?u-
 私が 寝てる時に 起きて 行って
 ramudja:
 いないよ
 ja:ninu saθgatsuni sakimui ʃun-
 来年の 三月に 結婚 する
 do: ja
 よ
 結婚は kekkoθ と言うが、昔は sakim-
 ui とか ni:bitʃi と言った。
 jei ʃi:ga ʃura kibara kittʃi
 祝 しに 清ら 着物 着て
 ?ikanumuna:
 行きましょうよ
 kitʃi ?iko:ka: 着て 行こうね
 kjuθ 着る
 ?amini nuriti ja:tʃi kitʃando: ja:
 雨に 濡れて 家に 来たぞ
 ?ariwa ʃittʃusiga wantʃi hataramu
 あれは 知ってるが 私に 教えない
 ?ariwa muwa ?atti ?asiiga wantʃi
 あれは 知ってるが 私に
 hataramu

教えない
 tuimu ?aφirumu mandundoja:
 鶏も 家鴨も 沢山いるよ
 go:burani ʃibuini jasiwa ho:ra-
 南瓜に 冬瓜に 野菜は 買わない
 dzina:
 か
 jasi の i は、 e の方に近い音と思えた
 が、今は i にする。 ?u:di かぶ
 ho:raθkaja: 買いませんか
 ?amanimu ma:nimu mandi undo:-
 向うにも ここにも 沢山ある
 ja:
 よ
 taro:jo:ka dʒiro:gadu dikijun-
 太郎より 次郎がぞ 出来るの
 do: ja:
 だよ
 taro:jo:ka dʒiro:du dikijundo:-
 太郎より 次郎ぞ 出来るのだよ
 ja:
 ʃiʃijo:ka ?ju:wa takasamu
 肉より 魚は 高い
 φurijo:ka ?ariwa φurusando: ja:
 これより あれは 古いのだよ
 φujujo:ka natsidu juka:θ
 冬より 夏ぞ よい
 ?urajo:ka φukaniwa urando: ja:
 お前より 外には いないよ
 ?arijo:ka ?uφisanu munuwa ura-
 あれより 大きい 者は いな
 ndo: ja:
 いや
 waθjo:ka φukaniwa ʃunutʃuwa
 私より 外には する人は

urando: ja:

いないよ

wa: fuku furu munwa urando: ja:

私くらい する 者は いないよ

taro: tu sakimui fando: ja:

太郎と 結婚 したよ

dgiro: tu judzei fando: ja:

次郎と 喧嘩 したよ

?agutu ?idgando: ja: 友と 行ったよ

?uratuwa ba: do: ja: お前とは 嫌だよ

mukafitu namawa kawati undo: ja:
昔と 今は 変わって いるよ

tufijuitu junumundu jaribanna:

年寄と 同じぞ であるね

tujiwa sidza janumunnu warabitu

歳は 上だのに 子供と

judzai funnja:

喧嘩 するか

?ifatu ?asa かまきりと せみ

nabitu hama 鍋と 釜

?unitu ho: natuti figariti miru

骨と 皮 なって 瘦せて 見る

dzama na: ribanna:

かげも ないな

sutumiti me: fi kabando: ja:

朝 朝御飯 食べたよ

ji: <夕御飯>。 ?afi: <昼御飯>

?e: be: tu ga? ?e: sa ?u: rataro:

早ばやと こんなに 早く こられたね

?u?i ?u?i: tunu tfudu jatando: ja:

大 大としている 人ぞ だったよ

?um me: wa birasa fi ma: sa as

この御飯は 軟らかくて おいしい

aja:

ね

?anaguri <悪戯遊び>。 birasa <軟らかい>

matsiginaga tsiburagi: naga mui-

松やら カジマルやら 生えて

tussa:

いるよ

カジマルのことを、今は gadzimiru というが、昔は tsiburagi: とか ?itufitugi: と言った。

?ikukaja ?ika?kaja: ?umutunumu-

行こうか 行かんか 思っているの

nnu ?idgi ?asaja:

に 行って あるよ

udakaja どこか

?itfajo: どうか

nu: gane: 何か

?itfafikaja: どうしてか

tarujo: 誰か

?ikutsi jo: 幾つか

?itfate: suiyo: いくらか

?itfigane: いくつか

?udun jo: どれか

uda: nukaja: どののか

?itfasa: be: jo: いくらぐらいか

?itfafui jo: どうするか

?itfaji warabi nakafui jo:

どうして 子童 泣かすか

?udatfi ?ajuijo: どこへ 行くか

dgi: hatfi urukaja:

字 書いて いるのかな

hatfjumu 書く

taruga tfurasa a?gane:

誰が きれいかな

ka?ge: ti urukaja: 考えて いるかね

ka?ge: ti ga ura 考えているのだろうか

?uragadu si afiga お前がぞ してあ
るが

?uragadu si aru " してある
kusanudu muitufiga

草がぞ 生えているが

tjikke: fidu jaru ɸaŋgijunu munuwa
使うのぞ である 捨てる 物は

arando: ja:

あらぬよ

ganfanu kutumu fuwe:

そんな ことも やるか

dʒi: du hatʃi uru 字ぞ 書いて いる

taruga tʃurasa arukaja:

誰が 美しさ あるかな

?ariwa tʃurasa asaja:

あれは 美しさ あるねー

ɸisadu ?aru 寒さぞ である

ɸisadu ?ando: ja: " であるよ

wadumaitʃidu jaru 和泊へぞ である

wadumaitʃidu itʃundo: ja:

和泊へぞ 行くのだよ

?umudu kamiru いもぞ 食べている

?umudu kadondoja: " 食べているよ

tʃa: du numiru 茶ぞ 飲んでいる

tʃa: du numiru aʃa " 飲んでいるよ

tʃa: du nudondo: " "

tʃa: du nudondo: ja: " 飲んでいるんだよ

?afididu uru 遊んでぞ いる

wa: mundu jaru 私の物ぞ である

imaisaŋga jataraja:

今井さんで あったかね

imaisandu jatakʔaja:

今井さんぞ であったかなー

?uraniwa dikirando: ja:

お前には 出来ないよ

?ariniwa dikiga ʃura

あれには 出来るだろうか

?ariniwa dikidu ʃuru

" 出来ぞ する

?amiwa ɸurando: 雨は 降らないよ

?inuniwa kamajusiŋa ?mjaniwa

犬には かまれるが 猫には

kamaraŋgarafəŋ

かまれないよう

udʒiwa ?masa amu きびは 甘い

udʒiwa ?masa ando: ja: " 甘いよ

ɸuduwa ?uɸisəŋ 程は 大きい

ɸuduwa ?uɸisa afiga takiwa ta-

程は 重いが 丈は 高

kaku na: mu

く ない

ʃigituwa ʃidando: ja: 仕事は 済んだよ

ɸiruwa ?atsa afiga jiruwa ɸi: -

昼は 暑いが 夜は 寒

sanu

くて

na: be: ra: wa ?masa afiga nidʒa-

糸瓜は おいしいが 苦瓜

goiwa nidʒasanu

は 苦くて

jo: ʃawa jo: ʃa ai tʃiburuwa tʃi-

ひもじさは ひもじいし 頭は 頭

buru jadi nu: mu ʃirarando: ja:

痛いし 何も 出来ないよ

ɸimma ni: buiʃi: 昼寝(なんか)して
(なんだ)

ho: iʃi jo: ka du: ʃi tsukuti ka-

買うのより 自分で 作って 食べ

manumuŋ

ればよいものを

kamijo: 食べろよ
 ?inujo:ka ?mja:wa jukando:ja:
 犬より 猫は よいよ
 kamifiga jukaamu 食べるのが よい
 kamifidu mafin jaru
 食べるのぞ まし である
 kamifiwa mafi 食べるのは よい
 (方が)
 nibujusidu jukwa:ru 眠る方がぞ よい
 nibujusiwa mafi 眠る方は まし
 (が)
 jadziwa kusasa ati jukana:mu
 山羊は 臭くて よくない
 jadziwa hadza funti jukana:mu
 " 臭い して "
 ?wa:wa juka:mu 豚は よい
 jadziwa hadza fi kusasantuni
 山羊は 臭いして くさいから
 ?wa:wa juka:mu
 豚は よい
 ?ifogafa atimu ja:dzi mitfi iki
 忙しくても 家で 見ていきなさい
 digiwa ?uda:gane: 出花は どこかね
 taru jo:, dsiro:na:
 誰 か, 次郎 か
 natawa tarudirujo:
 貴方は 誰ですか
 wane jamado:ja: 私は ヤマですよ
 gandirona: ああそうか
 ganfanu kutu si: ?urawa su0 si-
 そんな こと して お前は 損 し
 radzë:
 ないか
 ?udun jo:, ?ura munwa
 どれ か お前の 物は
 nu:wa ?ura mun jo:
 何は お前の 物 か

habiwa na:dze: 紙は ないか
 tf?ubiwa na:dze: 帯は ないか
 tf?ubi は tf?ibi ともいう。今は ?ubi
 という。
 namawa 今は
 suiwa na:dzë: かみそりは ないか
 tfimuwa 肝は。tfimū.
 tfimu na:nu muna: <肝が無いねー。
 物忘れした場合に言う>
 φujuwa φi:sa amu 冬は 寒い
 k?wa:mui <おんぶ>。gadzamu0 <蚊>。
 jama0gadzamu0, ?uφugadzamu0 <大きい蚊>。
 gadzamu0gawa: <小さい蚊>
 ?ura φuiwa お前の 声は
 ?ibiwa <海老は>
 ?ibi は ?uminu wari <海のワリ>で
 取った。tjintjo <井戸>
 ?ura mummu wakarukaja:
 お前の 物も 分かるかね
 ?uraga wakarukaja: お前が 分かるか
 tannimu wakarukaja:
 誰にも 分かるかな(分からんだろうなあ)
 kusanu kamarukaja: 草が 食えるか
 kusamu kamarukaja: 草も "
 φa:nu jame: 歯がも 痛いか
 φa:mu jame: " "
 φa:mu jaminnja: " "
 (以上, 中屋利常氏より)
 ?adzawa çu:mu figututfi ?idza0
 父さんは 今日も 仕事へ 行った
 ?adzawa çu:mu figututfi ?itfabutan
 " " " いらっしゃ
 dja:
 ったよ

父のことを昔は ?adʒa と言った。次いで
?atʃa になり、今は ?oto: と言う。

?ujaho: 目上

tufi tuti tʃiburu ɸagitumu

年 取って 頭 禿げている

miminu tu:sa nati tʃiburumu ɸa-

耳が 遠く なって 頭も 禿

gitaʃ

げた

nidʒagoimu nabiara(:)mu natumu

苦瓜も 糸瓜も なっている

?idʒimu ?ikaʃkomu ʃimimu

行っても 行かなくても よい

?idʒimu ?ikaʃkomu ʃimindo: ja:

" " いいよ

?idʒimu ?ikadanamu ʃimimu

" " よい

tʃiburumu jamii watamu jamii na:

頭も 痛いし 腹も 痛いし もう

itʃamu narandja:

どうにも ならないよ

kadimu kadimu ?itʃa:sa:mu ka-

食っても 食っても いくらでも 食

miʃ

う

kadimu kadimu jubidiramu

" " 食べあきない

jubaitʃe: ru もう沢山だ

?itʃa: ʃiratimu natʃumu

どう されても 泣く

nu: nimu ɸuinimu natʃumu

何にも かににも 泣く

dʒo: mu ?aro: mu ?idʒirando: ja:

門も 外も 出ないよ

dʒo: tʃimu ?a: ro: tʃimu ?idʒiraʃ

門へも 外へも 出ない

?a(:)ro: <自分が家の中にいる場合、庭
など家の外を言う>

ja: mu nagarasu ɸudunu ?uturufanu

家も 流がす 程の 恐ろしい

?u: ami du jatamu

大雨 ぞ であった

?attsa: mu ?ariba hadʒi mu turi-

暑くも あれば 風も 凪れ

tumu

ている

turitijo 凪れているよ

hadzinu na: mu 風が 無い

juka jirudo: よい 夜だ

turijumu 凪れる

?aʃ warabiwa ?atʃiku surutu dʒa:-

あの 子供は かけっこすると じ

dʒa: ta: nimu me: jundo:

一さん達にも 負けるよ

?ikusanu kutuwa taru: mu atjaʃ

戦の ことは 誰も 知っている

?ikusanu kutuwa tarugamu atjaʃ

" " 誰もが "

?ikusanu kutuwa taru jatimu at-

" " 誰でも 知っ

jaʃ

ている

tarumu ?ati ?aidu ʃuru

誰も あて ありぞ する

?urani ɸa: ʃunu dʒiʃwa ?aʃiga

お前に 貸す 銭は あるが

kurijunu dʒiʃwa na: mu

くれる 銭は ない

?a: tʃibai ʃi tumetaʃiga ?udanimu

一生懸命で 捜したが どこにも

ʔuradana ʔatamu

いなかった

mufo:ni 一生懸命

ja:niwa tarumu ʔuradana ʔatamu

家には 誰も いなかった

ju: ganʃi gasana:mu kamajunu

ようこんなに 沢山 食えるもの

mun ja:

だね

unagu jaʃiga siraʃunu mun jiθ-

女 であるが 出来るもの 男

gadi ʃuti siraʃadzina:

で あって 出来ないのか

unagu damari siraʃunu mun jiθ-

女 さえ 出来るのに 男で

gadi ʃuti siraʃadzina:

ありながら 出来ないのか

ʔuranidamari ʃiraʃinu muθ wanni

お前にさえ 出来るのに 私に

ʃiraʃaranu kutuwa na:mu

出来ない ことは ない

ʔuradamari ʃiraʃinu muθ wanni

お前さえ 出来るのに 私に

ʃiraʃaranu kutuwa na:mu

出来ない ことは ない

hatʃunu muntʃu naθgi:na:

書く ものさえ 無いのか

ʔuraga ʔatʃikusukaja

お前が 歩いていけるだろうか

ʔuraga ʔitʃikusukaja

“ 行けるだろうか

ʔitʃikusando: 行ききれないよ

to:ka be: mo:rjan ʃuru

十日ばかり いてください

ʔikki be: na:buraθkaja:

一斤ばかり でないでしょうか

wan jatimu najumu 私でも 出来る

wan jatimu ʔuriwa naidu ʃuru

私 でも それは なりぞ する

wan jaʃiga naidu ʃuru

私 でも できぞ する

tarudaʃiga ʔura kaθge:ntʃu ʃira-

頼んだが お前 考えようとも しな

madze:

いでしょうか

ʔitʃa:ma jatimu 少しでも

ʔuridu ʔuθkasuttuwa tadaʃi:wa

それぞ 動かしたら ただでは

ukando:ja:

おかぬよ

dʒo:kara ʔi:tʃi itʃuʃi mitʃan

門から 入って 行くの 見た

tukiniwa hanara:dzi ʔaidzu ʃiriʃo:

時には 必らず 合図 しなさいよ

ʔuraga ʔitʃiʃe:ka ʃiriba dikidu

お前が 行きさえ すれば 出来ぞ

ʃuru

する

ju:dze: ʃi:wa ʃaʃiga ganʃigadiwa

喧嘩 しは したが そんなにまでは

(ʔammai gadi) θago:sa ʃi:ʃkurinna

余り まで にくんで くれるな

nibuttiwa utafiga ʔatiwa ʔaidu

寝ては いたが あては ありぞ

ʃuru muru turattaθ

する 全部 取られた

ʔujajadzɪ <親山羊>. kwajadzɪ <子

山羊>. jadʒigwa: <小山羊>

nidʒagoiwa nattunnja:

苦瓜は なっているか

nidʒagoidakiwa ʔarando: ja: ɸif-
 苦瓜だけは あらぬよ 夕顔
 ʃo: mu nabijaramu natundo: ja:
 も 糸瓜も なっているよ
 ɸifʃo: 魚釣りの浮袋の変わりにした
 ʔaganʃanu munni me: junnja
 あれくらいの 者に 負けるか
 ʔarigure: nu munni me: junnja
 " " "
 ʔariniwa me: rando
 あれには 負けないよ
 ɸi: tʃimu nuraradze:
 木にも 登れない
 ɸi: tʃintʃumu nuikusadze:
 木にでさえ 登りきれないのか
 turafuʃi guraiwa dikijumu
 取らすの くらいは 出来る
 ʔikimufidu jaʃiga ʔati ʔando: ja:
 動物ぞ であるが あて あるよ
 ʔitʃa: ʃimu ha: ʃimu ʃiranja: na-
 どうしても こうしても せんと い
 rando: ja:
 かんよ
 mi: nu karitimu ʃiranja: narado:-
 身が 枯れても せんと いかんよ
 ja:
 <どうしてもやらんといかん>ということ。
 nibutube: du ʔidʒijuru
 根太ばかりぞ 出ている
 ʔitsi: mu tʃa: be: du nuduru
 いつも 茶ばかりぞ 飲んでいる
 ʔiffo: ni いつも
 ʔafidibe: du urutu baka nataja
 遊んでばかりぞ いると 馬鹿 なったり
 ɸurimun najundo:

狂者 なるぞ
 du: nu numinu mum be: ʔiriti
 自分の 飲む 物 ばかり 入れて
 wa: me: wa ʔiriraʔko: ʃi:
 私の物は 入れんようにして
 natsini natantu nidʒagoinaga na-
 夏に なったから 苦瓜とか 糸瓜
 bijara: nagadu kadundo:
 とかぞ 食べているよ
 dʒa: dʒa: wa saki be: du ʔoifuru
 じいさんは 酒ばかりぞ 召しあがっている
 warusanu mum be: du nuko: turu
 悪い 物 ばかりぞ 残っている
 ma: be: wa ʔaraʔko: ni ʔutʃani:-
 ここばかりは できないで 君らの所に
 tʃimu kitʃi: na:
 も 来ていたか
 ʔura <君>。 ʔutʃa <君ら>。 nata
 <あなた>。 natata: <あなた方>
 ʔari tʃuintʃa nuko: tʃi ja: nu banu
 あれ 一人だけ 残して 家の 番
 ʃimijuʔgi: na
 させるのか
 sambjakkiʔbe: ka: inu ʔwa: du ja-
 三百斤ばかり かかる 豚ぞ であっ
 taru
 た
 tʃimu godʒu: be: du jatamaraʔ-
 年も 五十ばかりぞ でなかった
 kaja:
 かな
 jutai be: du jataru
 四人ばかりぞ である
 tomejuʔ 捜す
 tomeriba tomeraidu furu

捜せば 捜せぞ する
 ?itʃi:ntʃani matʃimu ɸuɪdana at-
 いつまで 待っても 来なかつ
 amu
 た
 na:ʃantaniwa matʃi kuriri
 明日までは 待って くれ
 na:ʃantaniwa matʃuti tabori
 " 待ってください
 godʒintʃani ɸataraka: 五時まで 働こ
 う
 mitʃikara ?atʃunu ʃu(:)gadi ɸur-
 道から 歩く 人まで たた
 ufumudido: ja:
 くそうだよ
 ?uttunigadi nakasattijo:
 弟にまで 泣かされてよ
 ?ikusa ʃutan tukiwa nu:mu ɸui-
 戦 していた 時は 何も かも
 mu kadando: ja:
 食べた よ
 ma:kara ?ama:ʃi ?ika
 ここから 向うへ 行こう
 ma:kara muko:ntʃani ?ika:
 " 向うまで 行こう
 ?a:tutʃikara jiruntʃani ɸataraka:
 朝から 晩まで 働こう
 nu:kara ɸuimadi mutʃi ?idʒamu
 何から 何まで 持って 行った
 madi の代りに ntʃani を用いてもよいが
 gadi はだめとのこと
 nu:mu ɸuimu mutʃi ?idʒamu
 何も かも 持って 行った
 hakiba hatʃamadidu jaʃiga hakamu
 書けば 書いたまでぞ であるが 書かぬ

hakiba jaʃimundu jaʃiga wana
 書けば 簡単ぞ であるが 私は
 hakando:
 書かんぞ
 ?itʃasana: ?ataijo
 いくらづつ 当たるか
 mi:ʃina: ?atajundo: 三つづつ 当た
 るよ
 tatido: ja: 同じ年だよ
 kambuʃa ariba ?itʃasana:mu ?ando:
 食べたければ いくらづつでも あるよ
 mi:ʃi be: na: ?ataindo: ja:
 三つばかりづつ あたるよ
 ?oho:sa hatamirutu darijundo:
 沢山 担ぐと 疲れるよ
 ?nje: na: hatamirijo: 少しづつ 担
 げよ
 ʃi:ʃi:dʒu: na:wa hatarakaran-
 一日中 づつは 働けな
 do: ja:
 いよ
 taro:ga gutuʃiwa tarumu ɸatara-
 太郎のように 誰も 働
 karando: ja:
 けないよ
 ?itʃasa: baka natutimu ?ujatʃiwa
 いくら 馬鹿 なっていても 親へは
 rambo:wa ʃirando: ja:
 乱暴 しないよ
 ?atu ?itʃasa be: nukoti uijo:
 後 いくらばかり 残って いるか
 ju:ti utimu du:nu ja:wa wa-
 酔って いても 自分の 家は 分か
 kairu ʃuru
 りぞ する

tʃa jatimu ʔoifʃi:tabori
 茶 でも 召し上がりなさい
 tabakunaga ʔoifʃiri 煙草でも 召し上
 がれ
 tabakuna:ʃita ʔoifʃiri
 煙草 でも 召し上がれ
 tʃu:wa ʃi:mu ʔarigawa ʃurando:
 人は しても あれがは しないよ
 nu:ka kaminu mun jatimu maʔ-
 何か 食べる もの でも ない
 kaja:
 かね
 koinaga hatamiti ʔudatʃi ʔajuijo:
 鍬など 担いで 何処へ 行くのか
 sakinaga numutu sawagaʃisa na-
 酒など 飲むと さわがしく な
 jumu
 する
 sakinaga numutu hamaraʃa naʃundo:
 " " かしましく なるよ
 taro: ʔurusuttuwa naramu
 太郎 たたくのは いけません
 (以上, 今井吉光氏より)

II. 和泊町和方言の文例

以下の調査は1981年2月11日に前久茂(19
02年生)氏より行った。

waga mjuʔ 私が見る
 ʔitʃaʃi wanu mju:jo
 どうして 私を見るか
 wa: muʔ 私の物
 ʔura muʔ 君の物
 nata muʔ 貴方の物
 waga: tsukuinu kutu ʃiri

私が 作るように せよ
 waga: tsukuinu kutu ʃinʃo:ri
 " " しなさい
 " " ʃi:tabori
 " " してください
 mitʃinti ʔafidi ʔu:ʃi:du wa:-
 道で 遊んで いるのぞ 私の
 kwa:
 子
 wunagu damari dikijunu mun ji-
 女 さえ 出来るのに 男
 ʔganu dikiranu hadʃinu ʔannja
 が 出来ない はずが あるか
 ʔu:tʃu:kaja warabikaja mandi
 大人やら 子供やら 沢山
 ʔuʔ
 いる
 jo:ne wa ʃi:sanu mja:tʃiwa ʔi-
 夕方は 寒くて 庭へは 出
 dʃiraraʔ
 られない
 ʔaro dʃi ʔuʃi 外で 干せ
 sutu: <外>。 ʔitʃuʔ <行く>
 ʔunitʃiwa ʔidʃaʃiga nu:mu tuti
 海へは 行ったが 何も 取って
 ʔuʔ
 来ない
 ʔunitʃi ʔitʃigatʃana hatteni koi
 海へ 行きながら 畑に 肥料
 hatamiti ʔidʃaʔ
 担いで 行った
 wa: wadumai 和 和泊
 ʔakaraʔʃi meburaru アカタジ 和泊
 ʔakataʔʃi tu:ti tʃibirutʃi ʔitʃuʔ
 アカタジ 通って 喜美留へ 行く

kinju kitʃaθ 昨日 来た	ʔariwa nibuti be: du ʔu: ru
kinju tʃa: butaθ " 来ました	あれは 寝てばかりぞ いる
kinjudu kitʃaru 昨日ぞ 来た	ʔariga kuriwa wakajuθ
munudu kaduru ものぞ 食べている	あれが 来れば 分かる
ʔura: ʔudatʃijo: お前 どこへか	ʔariga tumeti ʔu:ʃiwa ʔudurukaja
" ʔudatʃi ʔitʃujo お前 どこへ行	あれが 捜して いるのは どれか
くか	" " " tarukaja
ʔuraga kamadana ʔatimu waga:	" " " 誰か
お前が 食べなくても 私が	ʔaganʃiwa wanuniwa ʃiraraθ
kamiθ	あのようには 私には 出来ない
食べる	ʔariwa ja: ni ʔuiga ʃura
ʔuraga kamannja waga: kamindo:	あれは 家に いるかしら
お前が 食べんと 私が 食べるぞ	ʔariwa tʃitʃunu ʔagaintane hatte:
ʔitʃa: ʃiroka ʔuraga ʃuθgane	あれは 月の 上がるまで 畑
どう しようが 君の する通り	tʃa: ti ʔu: mu
ʔurawa ʔitʃunnja ʔikadʒina	耕して いる
お前は 行くか 行かないか	ʔitʃaʃi ʔaganʃi jowa: sa ʔarokaja
natawa ʔmenʃennja ʔmenʃoradʒina	どうして あんなに 弱さ あるか
貴方は いらっしゃるか いらっしゃらないか	nama ʔikiwa ma: ni ʔo: juθ
ʔatuni ʔura tʃui nokoinnja	今 行けば 間に あう
後に 君 一人 残るか	" " " ʔo: juʃiga
nu: di tʃimu ʔurawa tʃikanu wa-	" " " あうが
何と 言っても 君は 聞かぬ 子	gansuntuni ki: tʃikiridi ʔjussa
rabija	だから 気 つけろと 言うのだよ
供だ	ʔitʃumudi ʔitʃutaθ 行くと 言っていた
ʔanu ja: tʃi ʔidʒimu tʃu: wa ʔu-	ʔitʃuθgara wakaramudi ʔitʃutaθ
あの 家へ 行っても 人は いな	行くか 分からんと 言っていた
ranu hadʒi	ʔunu tʃu: この 人
い はず	ʔanu tʃu: あの 人
sa: re:, ja: ni menʃaburo: kaja	ʔunu tʃu: その 人
もしもし, 家に いらっしゃいますか	ʔuduru tʃu: どの 人
ʔja: ʔja: 男に対する呼びかけの言葉	ʔanu tʃu: wa ʔudakara kitʃaθkaja
ʔe: ʔe: 女 " "	あの 人は どこから 来たのか
natawa ʔudatʃi ʔmenʃabujo	" " " kitʃanu
貴方は どこへ いらっしゃるか	" " " 来た

tʃu:kaja

人か

ʔanu tʃu:wa saki be: du nuduru

あの 人は 酒ばかりぞ 飲んでいる

taruni kwa:ʃi kuritijo

誰に 菓子 くれたか

tarutu ju:dʒe ʃi:jo

誰と 喧嘩 したか

tarujokamu ʒe:sa ʃu:jo

誰よりも 早く 来いよ

taruga ʃa:nu ʃikutʃikaja ja:

誰が した 仕事か ね

taruga ʃaʔkaja 誰が したかね

jabutanu tʃu:wa tarujo

破った 人は 誰か

ja:ni ʔu:ʃiwa tandarujo

家に いるのは 誰誰か

wanu 私

watʃa muʔ 私達の 物

" ja: " 家

ʔura 君

ʔu:tʃa 君達

nata 貴方

natata 貴方がた

watʃamu ʔubani nuibufaja:

我我も くり船に 乗りたいな一

ʔu:tʃawa munuʒindʒi ʃinnajo:

君らは うそ するなよ一

ʔamani ʔu:ʃiwa tarutajo

向うに いるのは 誰らか

ʃunu tʃuntʃa この 人達

ʔanu tʃuntʃa あの "

ʔunu tʃuntʃa その "

ʔudanu tʃuntʃa どの "

ʃuntagadu ʃa:ru

これらがぞ してある

ʔanta あれら

ʔunta それら

taruta だれら

ʃunu muʔ この 者

ʔunu muʔ その 者

ʔanu muʔ あの 者

ʔuduru muʔ どの 者

ʔudomuʔ こいつら

ʃunu warotawa この 悪者らは

ʔunu " その "

ʔanu " あの "

ʔuduru warotaga ʔitʃijo

どの 悪者らが 言ったか

ʃuritu ʃurituwa ʔuduruga ʃasajo

これと これとは どちらが 安いか

ʃurintʃu wakaranu munnu nu:nu

これさえ 分からないのに 何が

wakaijo

分かるか

nudinu jadi tʃa:mu numaramudja:

のどが 痛くて 茶も 飲めないよ

" " tʃa:ntʃu "

" " 茶さえ "

ʃuridakiwa muttʃi ʃu:jo:ja:

これだけは 持って 来いよね

mindʒiru ho:ti ʃu:di ʔjattamu

人参 買って 来いと 言われた

dja:

よ

ʃuisaʃiwa gadʒimaru ʔikusaʃiwa

大きいのは ガジマル 小さいのは

hadʒigi

ユーナ

ʔuri ʔatimu ʃunagirutu kurakaindo:

それ でも 捨てると 殴られるぞ
 ?aridu junnu あれぞ 与論
 ?arina ?urina ?udurujo:
 あれか これか どれか
 ?utomunnu nu:di ?ju:jo
 悪者が 何と 言うか
 (のくせに)
 ma:ni ?a:je: ここに あるか
 na:ʔanu ʔitumitintane mattʔitabori
 明日の 朝 まで 待ってください
 wadomarikara ʔugumintane ?itʔuʔ
 和泊から 小米まで 行く
 mamu ?amamu du:duna: dja:
 ここも 向うも 親戚 だ
 " " du:duna: nati ?u:-
 " " 親戚 になっている
 mu
 ?amamu wa: hatte 向うも 私の 畑
 ʔunu ʔigutuwa nariranu munu ja-
 この 仕事は 慣れないから
 ntuni dari:n ja:
 疲 る ね
 ?unu ʔfibarawa nu:ʔi tsukuti
 その 着物は 何で 作って
 ?arokaja:
 あるか
 ?anu ?ju:wa ʔuka: garamu wakaraʔ
 あの 魚は 鱧かも 分からん
 ?anujo: ?u:ʔawa ?udanu maʔgura
 あのね 君らは どのへん
 ?idʒijo:
 行ったの

Ⅲ. 知名町瀬利覚方言の文例

以下の調査は1980年3月, 1981年2月に瀬戸

ロミツ(1904年生)氏より行った。
 ti:nu watani ?uiti ʔudujatʔanu
 手の 掌の上で 育てた
 ?ma:gadoʔja
 孫だよ
 ʔimba ʔu:nu ʔfu: びっこ する 人
 kimuni ?mu:tunu kutuwa ?i:jo:
 心に 思っている 事は 言えよ
 ʔibugafinu ʔi: ʔʔikutjaʔ
 蜘蛛が 巣 作ってある
 ?mmu be: du kamjuru
 いもばかりぞ 食べる
 " " kamjuʔ
 " " 食べる
 mimugui kamjuʔ 三回 食べる
 makinu ?wa 豚小屋の 豚
 ʔfu:kani ʔfa: ke:ri 急須に 茶 入
 れよ
 tu:na:ninu ?idʒiti ?uninu ?ari-
 トー波が 出て 海が 荒れる
 juʔgara wakaraʔ
 か 分からん
 ʔu:wa ʔi:dʒu ?afidaʔ
 今日 一日中 遊んだ
 tʔumitiwa gohaʔga ?ma:ku na:ʔ
 朝は 御飯が おいしく ない
 tʔumitikara ʔimantʔani ʔarutʔi
 朝から 昼間まで 畑に
 ?ikjuʔ
 行く
 jo:netʔa:ni uriyo 夕方まで おれよ
 jo:ne mi:gatʔa:na ʔu:jo:
 夕方 見ながら 来なさいね
 jirumu ?afibiʔgatʔa:na ʔu:jo:
 夜も 遊びながら 来なさいね

çu: nu t?umiti kitʃaʃiga ?ura
 今日の 朝 来たが お前
 ?uradana atað
 いなかった
 jo: ne çikjatutamu dja:
 夕方 光っていた よ
 tʃiçi: dʒu ka: tað 一日中 かかった
 natʃiwa ?atʃasað 夏は 暑い
 ?ne: wa nukumoiðkja kekkofiki
 少しは 温もってから 結婚式
 ʃuð
 する
 ʃidʒu: kunu ?ma: ri dufi
 49歳の 生まれ 歳
 mi: tʔi: tʃi waga kamjuð
 3分の1 私が 食べる
 mansawaki tʃi kamaja:
 平等に分けて 食べようね
 kuðgetʃi ?ikjuð 国頭へ 行く
 wa: dume: tʃi ?ikjuð 和泊へ 行く
 jo: newa çi: sanu sututʃiwa ?idʒi-
 夕方は 寒くて 外には 出ら
 rarað
 れない
 ?ura: ?udatʃi jo: お前は どこへか
 ?uraga kamaðkja wa: ga: kamjundo
 君が 食べんと 私が 食べるぞ
 ?ura: ?ikjunnja ?ikadzï
 お前 行くか 行かんか
 natawa ?udatʃi diro: jo:
 貴方は どこへですか
 ?ariwa nibuti be: du ?u: ru
 あれは 寝てばかりぞ いる
 ?ariga gutiwa wanuwa ʃirarað
 あれの ようには 私は 出来ない

tʃikjunu ?agajuntʔane ʃate kjattuð
 月が 上がるまで 畑 耕している
 nataga ?menʃotʃi ho: raʃa ?ajabuð
 貴方が 来られて 嬉しさ ございます
 ?urigassa muttʃi ʃu: jo:
 これだけは 持って 来いよ
 " " mo: ri
 " " いらっしゃい
 nibutube: ?idʒijuð
 根太ばかり 出ている
 ?ju: ho: ti ʃu: di ?ju: tað
 魚 買って 来いと 言っていた
 ?ju: ho: tu: di ?ju: tað
 魚 買って来いと 言っていた
 tʔumitikara jo: nentʔane ʃatara-
 朝から 晩まで 働く
 kju {^{mu}_ð
 sakiwa nu: ʃi tʃukujuðkaja
 酒は 何で 作るかね